

平成 18 年 8 月 11 日

吹田市消防本部消防長 廣瀬 茂様

吹田市救急システムにおけるモバイル・テレメディシンの導入に関する
データ集積調査に関する依頼

拝啓

救急医療において平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
地域の救急医療において、当センターにおける救急救命士とのホットライン運用、CCUネットワーク、モバイルテレメディシン研究会、心肺蘇生法やAED啓発活動等で長年にわたり吹田市消防本部の皆様方には多くのご支援をいただいております。改めてお礼を申し上げます。
平成14年から吹田市、吹田市消防本部のご理解ご協力をいただき推進をすすめてまいりました救急医療におけるモバイルテレメディシンシステムが実用化の目処がつき、実用化前の最終確認作業の準備が整いました。そこで実際の救急車で傷病者に適用いただくため、3ヶ月間の試験期間を設定し実際の救急車内におけるモバイルテレメディシンの運用についてデータ集積をお願い致したいと存じます。

この企画は吹田市長様はじめ関係各位のご支援により、これまで実地検証を積み重ね、昨年度は総務省近畿通信局における新しい通信システムにおける実証研究にも吹田市消防本部様とともに参画させていただき、成果を示すことができました。これらの取組は救急医療におけるIT(情報通信技術)活用として“心筋梗塞・脳卒中をおこすなら吹田市で”とのフレーズで救命都市吹田での取組と内外に注目されている領域のひとつとなりました。今後、救急活動の支援と適切なメディカルコントロールの充実に、ITの活用により、市民の安心安全の確保が一層の改善がもたらされることを期待するものであります。これまでのモデルを用いた実地検証により、システムの有効性・有用性、また情報セキュリティの確保等の検討を重ね、実用化に支障がないことを確認致しました。

本検討は厚生労働科学研究の一環として実施させていただきため、検証に必要な費用は研究費を充当致しますので、予算の新らかな獲得は必要性ないことを付記させていただきます。実施に当たりましては、吹田市個人情報保護審議会での審議、また当センター倫理委員会での承認を予定させていただきますので、なにとぞ実施に当たりましてご承認いただけますようお願いいたしますと共に、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

敬具

国立循環器病センター
心臓血管内科部長
野々木 宏